

令和5年8月

「おくすり問診票」の利用に関して

1. 作成の経緯

近年、ポリファーマシーの問題は医療上の重要課題として認識されてはいるものの、ポリファーマシーの解消に向けた処方介入すべき患者の抽出に難渋するケースが散見されています。そのため、今回、ポリファーマシーの問題を抱えている患者のスクリーニングが容易となるよう「おくすり問診票」の開発を行いました。「おくすり問診票」を現場で使用することで、ポリファーマシーに関わる業務の改善につながることを期待しています。なお、作成にあたっては極力、自己回答できるように高齢者への配慮を行いました。

2. 利用方法

「おくすり問診票」は、本人もしくは家族および介護者が質問に回答していただくことを想定しています。「おくすり問診票」では、一般的な服薬に関する問診項目、服薬管理、服薬支援及び服薬調整に関する項目を調査するとともに、薬の副作用が発現している可能性をスクリーニングできるよう、薬剤起因性老年症候群が疑われる症状をイラストで表記しています。

薬剤起因性老年症候群の評価に当たっては、薬剤起因性老年症候群と主な原因薬剤（高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）より）と照らし合わせて使用することで、患者が自覚している症状と患者が使用している薬剤との関連を疑うことが可能となっています。「おくすり問診票」に記載された内容の評価することで、ポリファーマシーの問題の解消に向け、介入が必要な対象患者の抽出および、対応を検討すべき薬剤のリストアップの一助となることを期待しています。なお、研究にご協力頂く可能性もあります。

※「おくすり問診票」の著作権等について

「おくすり問診票」の著作権及び著作者人格権は全て国立長寿医療研究センターに帰属します。利用にあたり、原文をそのまま利用することは問題ございませんが、改変や引用については、認められません。

ご質問がある場合は3. 問合わせ先までご連絡ください。

3. 問い合わせ先

溝神 文博

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター薬剤部

長寿医療研修センター 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室長

TEL : 0562-46-2311 (代表)

【作成メンバー】

国立高度専門医療研究センター横断的研究推進費若手研究助成

「ポリファーマシー対策のための持参薬鑑別評価シート開発に関する研究」

研究代表者

溝神 文博 国立長寿医療研究センター

分担研究者

渡部 大介 国立がん研究センター

生駒 歌織 国立循環器病研究センター

白井 毅 国立精神・神経医療研究センター

渡部 智貴 国立精神・神経医療研究センター

瀬戸 恵介 国立国際医療研究センター

石井 真理子 国立成育医療研究センター

【「おくすり問診票」の著作権及び著作者人格権の帰属】

国立長寿医療研究センター